SHARP

ご利用の前に必ずお読みください

SH-M01

ご利用にあたっての注意事項

- 安全上のご注意（必ずお守りください）
- 取り扱い上のご注意
- 内蔵電池の交換について
- リサイクルについて
- 防水性能
- 携帯電話機の比吸収率（SAR）について
- CAUTION
- 輸出管理規制
- 知的財産権について

'14.12(1版)
TINSJB103AFZZ
14M 0.3 YM Y①

安全上のご注意（必ずお守りください）

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
また、お読みになったあとは大切に保管してください。

- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 本製品の故障、誤動作または不具合などにより、通話などの機会を逃したために、お客様、または第三者が受けられた損害につきまして、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。内容をよく理解した上で本文をお読みください。

⚠危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死にまたは重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
⚠警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死にまたは重傷を負う可能性が想定される」内容です。
⚠注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷を負う可能性が想定される場合および物的損害の発生が想定される」内容です。

次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。内容をよく理解した上で本文をお読みください。

キャピ防水シート 高温注意	高温による傷害の可能性があることを示します。	濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
禁止	禁止（してはいけないこと）を示します。	指示	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示します。

分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。
電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。
水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。

「安全上のご注意」は、下記の6項目に分けて説明しています。

- 本端末・アダプター・microSIMカードの取り扱いについて（共通）.....P.2
- 本端末の取り扱いについて.....P.6
- アダプターの取り扱いについて.....P.11
- microSIMカードの取り扱いについて.....P.13
- 医用電気機器近くでの取り扱いについて.....P.14
- 材質一覧.....P.15

本端末・アダプター・microSIMカードの取り扱いについて（共通）

⚠危険

禁止 高温になる場所（火のそば、暖房器具のそば、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で充電・使用・放置しないでください。
また、暖かい場所や熱のこもりやすい場所（こたつや電気毛布の中、携帯カイロのそばのポケット内など）においても同様の危険がありますので、充電・放置・使用・携帯しないでください。
機器の変形・故障や内蔵電池の漏液・発熱・発火・破裂の原因となります。また、ケースの一部が熱くなり、やけどなどの原因となることがあります。

禁止 本端末にアダプターをうまく取り付けできないときは、無理に行わないでください。microUSBプラグの向きを確かめてから、取り付けや接続を行ってください。
内蔵電池を漏液・発熱・破裂・発火させるなどの原因となります。また外部接続端子を破損・焼損させる原因となります。

禁止 本端末とアダプターを接続した状態で、踏みつけるなど外部から過大な力を加えないようにしてください。
端子が破損した状態で充電すると故障や火災の原因となります。充電するときは、使用場所、取り扱いにご注意ください。

分解禁止 分解・改造・ハンダ付けなどお客様による修理をしないでください。
火災・けが・感電などの事故または故障の原因となります。また、内蔵電池の漏液・発熱・破裂・発火などの原因となります。
本端末の改造は電波法違反となり、罰則の対象となります。

水濡れ禁止 水や飲料水、ペットの尿、汗などで濡らさないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。
防水性能については以下をご参照ください。
☞P.25「防水性能」

水濡れ禁止 本端末内部・アダプターを濡らさないでください。
水やペットの尿などの液体が本体内部に入ったときに、濡れたまま放置したり、濡れたまま充電すると、発熱・感電・火災・けが・故障などの原因となります。
使用場所、取り扱いにご注意ください。

⚠警告

禁止 本端末・アダプターを、加熱調理機器（電子レンジなど）・高圧容器（圧力釜など）の中に入れたり、電磁調理器（IH調理器）の上に置いたりしないでください。
内蔵電池の漏液・発熱・破裂・発火や、本端末・アダプターの発熱・発煙・発火・故障などの原因となります。

禁止 落としたり、投げたりして、強い衝撃を与えないでください。
内蔵電池の漏液・発熱・破裂・発火や火災・感電・故障などの原因となります。

禁止 外部接続端子に、液体（水道水、清涼飲料水、海水、ペットの尿など）や導電性異物（鉛筆の芯や金属片、金属製のネックレス、ヘアピンなど）が触れないようにしてください。また内部に入れないようにしてください。
ショートによる火災・やけど・故障などの原因となります。

禁止 乾燥などの目的で、ドライヤーなどの温風を当てないでください。また、サウナに持ち込んだり、熱湯をかけたりしないでください。
内蔵電池の漏液・発熱・破裂・発火や、本端末・アダプターの発熱・発煙・発火・故障などの原因となります。

指示 プロパンガス、ガソリンなどの引火性ガスや粉塵の発生する場所（ガソリンスタンドなど）では、必ず事前に本端末の電源をお切りください。また、充電もしないでください。
ガスに引火する恐れがあります。プロパンガス、ガソリンなど引火性ガスや粉塵の発生する場所で使用すると、爆発や火災などの原因となります。

指示 使用中、充電中、保管時に、異音・発煙・異臭など、今までと異なることに気づいたときは、次の作業を行ってください。
1. 電源プラグをコンセントから抜く。
2. 本端末の電源を切る。
異常な状態のまま使用すると、火災や感電などの原因となります。

⚠注意

禁止 ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所に置かないでください。また、バイブレータ設定中や充電中は、特にご注意ください。
落下して、けがや故障などの原因となります。また、充電中の落下は端子の破損の原因となります。

禁止 本端末をアダプターから取り外す際は、コードを引っ張らず、アダプターのmicroUSBプラグを持って取り外してください。
コードを引っ張るとコードが傷ついたり、端子の破損による火災や感電などの原因となります。

禁止 湿気やほこりの多い場所や高温になる場所には、保管しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

指示 子供が使用する場合は、保護者が取り扱い方法を教えてください。使用中においても、指示どおりに使用しているかをご注意ください。
けがなどの原因となります。

指示 乳幼児の手の届かない場所やペットが触れない場所に保管してください。
誤って飲み込んだり、けがなどの原因となります。

指示 本端末を長時間ご使用になる場合、熱くなることがありますので、ご注意ください。
長時間触れ続けると低温やけどになる恐れがあります。

本端末の取り扱いについて

本端末の内蔵電池の種類は次のとおりです。

表示	電池の種類
Li-ion00	リチウムイオン電池

⚠危険

禁止 火の中に投下しないでください。
内蔵電池を漏液・破裂・発火させるなどの原因となります。

禁止 釘を刺したり、ハンマーでたたいたり、踏みつけたり、強い衝撃を与えないでください。
内蔵電池を漏液・発熱・破裂・発火させるなどの原因となります。

指示 内蔵電池内部の液が目の中に入ったときは、擦らず、すぐにきれいな水で洗い流し、ただちに医師の診療を受けてください。
失明などの原因となります。

⚠警告

指示 屋外で使用中に雷が鳴り出したら、ただちに電源を切って屋内などの安全な場所に移動してください。
落雷や感電の原因となります。

禁止 モバイルライトの発光部を人の目に近づけて点灯発光しないでください。
視力障害の原因となります。また、目がくらんだり、驚いたりして、けがなどの事故の原因となります。

禁止 充電中は、本端末を布や布団で覆ったり、包んだりしないでください。また布や布団で覆った状態で、就寝しないようにしてください。
熱がこもって火災・やけど・故障などの原因となります。

禁止 本端末内のmicroSIMカードスロットやmicroSDカードスロットに水などの液体や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止 自動車などの運転者に向けてライトを点灯しないでください。
運転の妨げとなり、事故の原因となります。

禁止 自動車、バイク、自転車などの乗り物の運転中には使用しないでください。
交通事故の原因となります。
乗り物を運転しながら携帯電話を使用することは、法律で禁止されており、罰則の対象となります。
運転者が使用する場合は、駐停車が禁止されていない安全な場所に止めてからご使用ください。

禁止 本端末のディスプレイ部には強化ガラスを使用しています。落下などによる衝撃や無理な力を加えないでください。
ディスプレイ部が破損し、ガラスが鋭利な破片となって、激しく飛散する恐れがあります。万一、破損した場合は、破片や破損部分に直接手を触れないようご注意ください。けがの原因となります。

指示 航空機へのご搭乗にあたり、本端末の電源を切るか、機内モードに設定してください。
航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。
航空機の電子機器に悪影響を及ぼす原因となります。
なお、航空機内での使用において禁止行為をした場合、法令により罰せられることがあります。

指示 病院での使用については、各医療機関の指示に従ってください。
使用を禁止されている場所では、本端末の電源を切ってください。
電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。

指示 心臓の弱い方は、着信時のバイブレータ（振動）や着信音量の設定に注意してください。
心臓に影響を与える恐れがあります。

指示 医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。
医用電気機器などに悪影響を及ぼす原因となります。

指示 高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、本端末の電源を切ってください。
電子機器が誤動作などの影響を与える場合があります。
※ご注意いただきたい電子機器の例
補聴器・植込み型心臓ペースメーカ・植込み型除細動器・その他の医用電気機器・火災報知器・自動ドア・その他の自動制御機器など

指示 内蔵電池内部の液が皮膚や衣服に付着した場合は、ただちに本端末の使用を中止し、きれいな水で洗い流してください。
皮膚に傷害を起こすなどの原因となります。

指示 所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を中止してください。
内蔵電池の漏液・発熱・破裂・発火させるなどの原因となります。

指示 本端末の使用中・充電中・保管時に、異臭・発熱・変色・変形など、今までと異なることに気づいたときは、やけどやけがに注意して火気から遠ざけてください。
異常な状態のまま使用すると、内蔵電池を漏液・発熱・破裂・発火させるなどの原因となります。

指示 ベットが本端末に噛みつかないように注意ください。また、ベットが噛みついた本端末は使用しないでください。
内蔵電池の漏液・発熱・破裂・発火や機器の故障・火災の原因となります。

⚠注意

キャピ防水シート 高温注意 電源が入っているときや電源を切った直後は、キャピ防水シートが高温になっていることがあります。リアカバーを取り外すときは、電源を切り、本端末の温度が下がったあとで行ってください。
やけどの原因となります。

禁止 キャピ防水シートをはがしたり、傷をつけたり、衝撃を与えたりしないでください。
キャピ防水シートの内部には、電池や精密部品があります。はがしたり、傷をつけたり、衝撃を与えたりすると、故障・発熱・発火・感電・傷害・やけどなどの原因となります。

禁止 本端末に磁気カードなどを近づけないでください。
キャッシュカード・クレジットカード・テレホンカード・フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。

禁止 ストラップなどを持って本端末を振り回さないでください。
本人や周囲の人に当たり、ストラップが切れたりして、けがなどの事故や故障あるいは破損の原因となります。

禁止 本端末が破損したまま使用しないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止 モーションセンサーや地磁気センサーのご使用にあたっては、必ず周囲の安全を確認し、本端末をしっかりと握り、必要以上に振り回さないでください。
けがなどの事故の原因となります。

禁止 誤ってディスプレイを破損し、液晶が漏れた場合には、顔や手などの皮膚につけないでください。
失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。
液晶が目や口に入った場合には、すぐにきれいな水で洗い流したうえで、ただちに医師の診療を受けてください。
また、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにアルコールなどで拭き取り、石鹸などで洗い流してください。

禁止 不要になった本端末を、一般のゴミと一緒に捨てないでください。
電池を内蔵していますので、「保証書に記載のお問い合わせ先」までお問い合わせください。適切に処理いたします。

禁止 車両電子機器に影響を与える場合は使用しないでください。
本端末を自動車内で使用すると、車種により、まれに車両電子機器に影響を与え、安全走行を損なう恐れがあります。

指示 充電しながら携帯電話やアプリ（ゲームなど）を長時間使用すると、本端末やアダプターの温度が高くなることがありますので、温度の高い部分に長時間触れないでください。
低温やけどなどの原因となります。

禁止 着信音が鳴っているときや、本端末をスピーカーとして使用しているときなどは、スピーカーに耳を近づけないでください。
難聴になる可能性があります。

指示 本端末の使用により、皮膚に異常が生じた場合は、ただちに使用をやめて医師の診療を受けてください。
本端末では材料として金属などを使用しています。お客様の体質や体調によっては、かゆみ・かぶれ・湿疹などが生じることがあります。各部所の材質については☞P.15「材質一覧」

指示 ワンセグを視聴するときは、十分明るい場所で、画面からある程度の距離を空けてご使用ください。
視力低下につながる可能性があります。

指示 イヤホンを使用するときは音量に気をつけてください。
長時間使用して難聴になったり、突然大きな音が出て耳を痛めたりする原因となります。

アダプターの取り扱いについて

⚠警告

禁止 充電中は、布や布団で覆ったり、包んだりしないでください。また布や布団で覆った状態で、就寝しないようにしてください。
熱がこもって火災・やけど・故障などの原因となります。

禁止 指定以外の電源・電圧で使用しないでください。
指定以外の電源・電圧で使用すると、火災や故障などの原因となります。
● ACアダプター：AC100V～240V（家庭用ACコンセント専用）
また、海外旅行用として、市販されている「変圧器」は使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。

禁止 アダプターのコードが傷んだら使用しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止 アダプターは、風呂場や洗面所など湿気の強い場所や水のかかる可能性のある場所では使用しないでください。
火災・感電・故障の原因となります。

禁止 雷が鳴り出したら、アダプターには触れないでください。
感電などの原因となります。

禁止 アダプターのコードの上に重いものをのせないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止 本端末またはACアダプターが濡れている状態では、microUSBプラグを絶対に接続しないでください。
本端末は防水性能を有しておりますが、濡れた状態でmicroUSBプラグを挿入すると、本端末やmicroUSBプラグに付着した水分や異物などにより、充電ショートによる異常発熱、故障、火災、やけどの原因となります。

濡れ手禁止 濡れた手でアダプターのプラグや端子を抜き差ししないでください。
感電や故障などの原因となります。

指示 プラグにほこりが付いたときは、アダプターを持ってプラグをコンセントから抜き、乾いた布などで拭き取ってください。
火災の原因となります。

指示 アダプターをコンセントに差し込むときは、アダプターのプラグ（ACプラグ）に導電性異物（鉛筆の芯や金属片、金属製のネックレス、ヘアピンなど）が触れないように注意して、確実に差し込んでください。
感電やショートによる火災・やけど・故障などの原因となります。

指示 本端末にアダプターを抜き差しする場合は、無理な力を加えず、水平に真っ直ぐ抜き差ししてください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

電源プラグを抜く 使用しない場合は、アダプターを持って電源プラグをコンセントから抜いてください。
電源プラグを挿したまま放置し、アダプターのプラグに異物や液体が付着したり、アダプターのプラグを踏みつけたりすると、感電・火災・故障の原因となります。

電源プラグを抜く 万一、水やペットの尿などの液体が入った場合は、ただちにアダプターを持って、コンセントからプラグを抜いてください。
感電・発煙・火災の原因となります。

医用電気機器近くでの取り扱いについて

ここで記載している内容は、「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末等の使用に関する指針（電波環境協議会（平成９年４月））」および「各種電波利用機器の電波が植込み型医療機器へ及ぼす影響を防止するための指針（総務省（平成25年１月））」の内容を参考にしたものです。

⚠警告

指示 植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着されている場合は、ペースメーカなどの装着部位から15cm以上離して携行および使用ください。
電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。

指示 自宅療養など医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカなどに確認してください。
電波により医用電気機器の作動に影響を与える場合があります。

指示 付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、身動きが自由に取れないほど混雑した状況など、15cm以上離隔距離を確保できない恐れがある場合には、事前に通信機能が使用できない状態（例：機内モード）に切り替えるか、または携帯電話の電源をお切りください。電源が自動的に入るアプリをインストールしている場合は、設定を解除してから電源を切ってください。
電波により、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器が誤動作するなどの影響を与える場合があります。

指示 医療機関などは、以下を守ってください。本端末の電波により医用電気機器に影響を及ぼす恐れがあります。
- 手術室・集中治療室（ICU）・冠状動脈疾患監視病室（CCU）には、本端末を持ち込まないでください。
- 病棟内では、本端末の電源を切ってください。
- ロビーなど、携帯電話の使用を許可された場所であっても、近くに医用電気機器があるときは本端末の電源を切ってください。
- 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。

材質一覧

端末

使用箇所	材質／表面処理
ディスプレイ面	強化ガラス／表面AR散防止シート付き
ディスプレイ面の下部	PC樹脂／表面UV塗装
ディスプレイ面の周囲	PA樹脂／表面UV塗装
イヤホンマイク端子の周囲	PA樹脂／表面UV塗装
電源キー	PC樹脂／表面UV塗装、不連続蒸着
サイドキー	アルミニウム／アルマイト処理
カメラパネル	アクリル樹脂／裏面印刷
モバイルライト	PC樹脂
microSIMカードスロット	SUS／Niメッキ
microSDカードスロット	SUS／Niメッキ
microSIMカード／microSDカードスロットカバー	PC樹脂
microSIMカード／microSDカードスロットカバーのパッキン	シリコンゴム
ディスプレイ面の裏側	PA樹脂／表面UV塗装
スピーカーメッシュ	PET／裏面シルク印刷
スピーカーメッシュの周囲	ポラーラ

使用箇所	材質／表面処理
キャピ防水シート	PET／裏面シルク印刷
ネジ	鋼／黒Niメッキ、Niメッキ
外部接続端子	SUS／Snメッキ、銅合金／金メッキ
外部接続端子の周囲	PA樹脂／表面UV塗装
送話口／マイククッション	PORON®

リアカバー

使用箇所	材質／表面処理
リアカバー本体	PC樹脂／表面UV塗装

取り扱い上のご注意

共通のお願い

- SHM01は防水性能を有しておりますが、本端末内部に浸水させたり、オプション品に水をかけたりしないでください。
- アダプター、microSIMカードは防水性能を有してはいません。風呂場などの湿気の多い場所でのご使用や、雨などがかかることはおやめください。
身に付けている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。
調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となり修理できないことがありますのでご注意ください。なお、保証対象外ですので修理を実施できる場合でも有料修理となります。
- お手入れは、乾いた柔らかい布などで拭いてください。
アルコール、シンナー、ベンジンなどを用いると色が落ちたり、文字が薄くなったりすることがありますのでご使用にならないでください。
乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。
ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。
- 端子は時々乾いた綿棒などで清掃してください。
端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れたり充電不十分の原因となったりしますので、端子を乾いた綿棒などで拭いてください。
また、清掃する際には端子の破損に十分ご注意ください。

- エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。
急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。
- 無理な力がかからないようお取り扱いください。
故障やけがの原因となります。
・ズボンやスカートのポケットに入れたまま、しゃがみこんだり椅子などに座らないでください。特に厚い生地の衣服のときはご注意ください。
・かばんなどに入れるときは、重さいものの下にならないように十分ご注意ください。
- 本端末のディスプレイを堅いもので擦ったり、傷つけないようご注意ください。
- 対応の各オプション品に添付されている個別の取扱説明書をよくお読みください。
- お客様の取り扱いの不備による故障と認められたときは、保証の対象外となりますのでご了承ください。

本端末についてのお願い

- タッチパネルの表面を強く押したり、爪やボールペン、ピンなど先の尖ったもので操作したりしないでください。
タッチパネルが破損する原因となります。
- 極端な高温や低温環境、直射日光の当たる場所でのご使用、保管は避けてください。
- 本端末は温度：5℃～35℃、湿度：45%～85%の範囲でご使用ください。
- 一般の電話機やテレビ、ラジオなどをお使いになっている近くで本端末を使用すると、雑音が入るなどの影響を与えることがありますので、ご注意ください。
- お客様ご自身で本端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。
万が一登録された情報内容が消えてしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本端末を落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
故障、破損の原因となります。
- 外部接続端子やイヤホンマイク端子に外部接続機器を接続する際に斜めに差したり、差した状態で引っ張ったりしないでください。
故障、破損の原因となります。
- 端子に指定品以外のものは、取り付けないでください。
誤動作したり、破損することがあります。

- 使用中や充電中は本端末や内蔵電池が温かくなることがありますが、異常ではありませんので、そのままご使用ください。
- カメラを直射日光の当たる場所に放置しないでください。
素子の退色・焼けをまねく原因となります。
- 通常はmicroSIMカード／microSDカードスロットカバーを閉じた状態でご使用ください。
ほこり、水などが入り故障の原因となります。
- リアカバーを外したまま使用しないでください。
内蔵電池や精密部品へ衝撃が加わりやすくなり、故障につながる恐れがあります。リアカバーの交換につきましては、「保証書に記載のお問い合わせ先」までお問い合わせください。
- microSDカードの使用中は本端末の電源を切らないでください。
データの消失・故障の原因となります。
- 本端末に磁気を帯びたものを近づけないでください。
強い磁気を近づけると誤動作の原因となります。
- 歩行中は、周囲の音が聞こえなくなるほど、音量を上げないでください。
事故の原因となります。
- 本端末を手に持って使用するときは、送話口／マイク、受話口、スピーカーを塞がないようにご注意ください。
- 内蔵電池は消耗品です。
十分に充電しても使用できる時間が極端に短くなったら、交換時期です。内蔵電池を交換してください。なお、内蔵電池は、お客様自身では交換できません。内蔵電池の交換については、「保証書に記載のお問い合わせ先」までお問い合わせください。
- 充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。
- 内蔵電池の使用時間は、使用環境や内蔵電池の劣化度により異なります。
- 内蔵電池の性能や寿命を低下させる原因となりますので、以下の保管をしないようご注意ください。
■ フル充電状態（充電完了後すぐの状態）での保管
■ 電池残量がない状態（本体の電源が入らないほど消費している状態）での保管
保管に適した電池残量は、目安として電池残量が40パーセント程度の状態をおすすめします。
- 本端末の表面にアルミ材を使用しております。アルミは柔らかい素材のため、打撲・擦り傷が残りやすくなっておりますので、ご注意ください。

microSIMカードについてのお願い

- microSIMカードの取り付け／取り外しには、必要以上に力を入れないでください。
- ICカードリーダー／ライターなどにmicroSIMカードを挿入して使用した結果として故障した場合は、お客様の責任となりますので、ご注意ください。
- IC部分はいつもきれいな状態でご使用ください。
- お手入れは、乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。
- お客様ご自身で、microSIMカードに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。
万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ICを傷つけたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。
データの消失、故障の原因となります。
- microSIMカードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
故障の原因となります。
- microSIMカードを曲げたり、重いものをのせたりしないでください。
故障の原因となります。

アダプターについてのお願い

- 充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。
- 次のような場所では、充電しないでください。
■ 湿気、ほこり、振動の多い場所
■ 一般の電話機やテレビ・ラジオなどの近く
- 充電中、アダプターが温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。
- 抜け防止機構のあるコンセントをご使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。
- 強い衝撃を与えないでください。また、プラグを変形させないでください。
故障の原因となります。
- 海外での充電に起因するトラブルについては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

microSIMカードの取り扱いについて

⚠注意

指示 microSIMカードを取り扱う際は切断面にご注意ください。
けがの原因となります。

⚠注意

禁止 アダプターをコンセントに接続しているときは、引っ掛けるなど強い衝撃を与えないでください。
けがや故障の原因となります。

禁止 プラグに手や指など身体の一部が触れないようにしてください。
やけど・感電・傷害・故障の原因となります。

指示 アダプターをコンセントから抜くときは、コードを引っ張らず、アダプターを持ってプラグを抜いてください。
コードを引っ張るとコードが傷つき、感電や火災などの原因となります。

指示 アダプターをテーブルタップに接続しているときは、踏みつけるなど外部から過大な力を加えないようにしてください。
火災や故障の原因となります。

電源プラグを抜く お手入れの際は、コンセントから、必ずアダプターを持ってプラグを抜いてください。
感電などの原因となります。

microSIMカードの取り扱いについて

⚠注意

指示 microSIMカードを取り扱う際は切断面にご注意ください。
けがの原因となります。

- microSIMカードにラベルやシールなどを貼った状態で、本端末に取り付けないでください。
故障の原因となります。

Bluetooth®機能を使用する場合のお願い

- 本端末は、Bluetooth機能を使用した通信時のセキュリティとして、Bluetooth標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、設定内容などによってセキュリティが十分でない場合があります。Bluetooth機能を使用した通信を行う際には十分にご注意ください。
- Bluetooth機能を使用した通信時にデータや情報の漏洩が発生しましても、貴社を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 周波数帯について
本端末のBluetooth機能が使用する周波数帯は、ホーム画面にアプリシートを表示▶[設定]▶[端末情報]▶[認証]で確認できます。ラベルの見かたは次のとおりです。

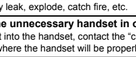
① ② ③ ④ ⑤
2.4FH1/XX4
⑥

① 2.4：2400M-Hz帯を使用する無線設備を表します。
② FH：変調方式がFH-SS方式であることを示します。
③ 1：想定される与干渉距離が10m以下であることを示します。
④ XX：変調方式がその他の方式であることを示します。
⑤ 4：想定される与干渉距離が40m以下であることを示します。
⑥ ■■■■：2400M-Hz～2483.5MHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可であることを意味します。
- Bluetooth機器使用上の注意事項
本端末の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略します）が運用されていることを確認してください。
1. 本端末を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。

2. 万が一、本端末と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、「電源を切る」など電波干渉を避けてください。
3. その他、ご不明な点につきましては、「保証書に記載のお問い合わせ先」までお問い合わせください。

無線LAN(WLAN)についてのお願い

- 無線LAN(WLAN)は、電波を利用して情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者に通信内容を盗み見られたり、不正に侵入されたりする可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。
- 無線LANについて
電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで使用しないでください。
・磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなったりすることがあります(特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります)。
・テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れたりすることがあります。
・近くに複数の無線LANアクセスポイントが存在し、同じチャネルを使用していると、正しく検索できない場合があります。
- 周波数帯について
WLAN搭載機器が使用する周波数帯は、ホーム画面にアプリシートを表示▶【設定】▶【端末情報】▶【認証】で確認できます。ラベルの見かたは次のとおりです。



① 2.4:2400MHz帯を使用する無線設備を表します。
② DS:変調方式がDS-SS方式であることを示します。
③ OF:変調方式がOFDM方式であることを示します。
④ 4:想定される与干渉距離が40m以下であることを示します。
⑤ [redacted]:2400MHz～2483.5MHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味します。

本端末の無線LANで設定できるチャネルは1～13です。これ以外のチャネルのアクセスポイントには接続できませんので、ご注意ください。
利用可能なチャネルは国により異なります。
航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。

- 2.4GHz機器使用上の注意事項
WLAN搭載機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)および特定小電力無線局(免許を要しない無線局)ならびにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。
1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するかご利用を中断していただいた上で、「保証書に記載のお問い合わせ先」までお問い合わせいただき、混信回避のための処置など(例えば、パーティションの設置など)について相談ください。
3. その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、「保証書に記載のお問い合わせ先」までお問い合わせください。
- 5 GHz機器使用上の注意事項
5 GHz の周波数帯においては、5.2GHz/5.3GHz/5.6GHz帯(W52/W53/W56)の3種類の帯域を使用することができます。
・W52(5.2GHz帯/36、40、44、48ch)
・W53(5.3GHz帯/52、56、60、64ch)
・W56(5.6GHz帯/100、104、108、112、116、120、124、128、132、136、140ch)
5.2GHz/5.3GHz帯無線LAN(W52/W53)の屋外使用は電波法で禁止されています。

注意

- 改造された本端末は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法/電気通信事業法に抵触します。
本端末は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明等に関する規則、および電気通信事業法に基づく端末機器の技術基準適合認定等に関する規則を順守しており、その証として「技適マーク(R)」が本端末の電子銘板に表示されております。電子銘板は、本端末で次の手順でご確認いただけます。
ホーム画面にアプリシートを表示▶【設定】▶【端末情報】▶【認証】
本端末のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法および電気通信事業法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。
- 自動車などを運転中の使用にはご注意ください。
運転中に携帯電話を手で保持しての使用は罰則の対象となります。
ただし、傷病者の救護または公共の安全の維持など、やむを得ない場合は対象外となります。
- 基本ソフトウェアを不正に変更しないでください。
ソフトウェアの改造とみなし故障修理をお断りする場合があります。
- 市販のmicroUSB接続ケーブルで(パソコンと接続する場合は使用を禁止された区域などでは行わないようご注意ください。
自動的に電源が入る場合があります。

内蔵電池の交換について

内蔵電池は消耗品です。充放電を繰り返すうちに劣化し、使用時間が極端に短くなります。
内蔵電池の劣化は、使用状況や動作環境によって異なりますが、満充電にしても極端に使用時間が短くなったときは、新しい内蔵電池と交換する必要があります。
本端末の内蔵電池はお客様自身では交換できませんので、「保証書に記載のお問い合わせ先」へご連絡いただき、内蔵電池の交換を依頼してください(有償)。

リサイクルについて

本端末に使用しています リチウムイオン電池は リサイクル可能な有益な資源です。リサイクルにご協力をお願いします。
リサイクルについては「保証書に記載のお問い合わせ先」まで、ご相談ください。

Li-ion00

■ 本製品を廃棄するときは

- 各自治体の廃棄ルールに従っていただきますようお願いします。自治体によって規則が異なりますので、お客様がお住まいの各自治体にご確認ください。
- プライバシー保護のため、事前にオールリセットを行って、システムメモリ内のすべてのデータを消去してください。

防水性能

SH-M01は、microSIMカード/microSDカードスロットカバーをしっかりと閉じ、リアカバーを取り付けた状態でIPX5※1、IPX7※2の防水性能を有しています。
※1 IPX5とは、内径6.3mmの注水ノズルを使用し、約3 mの距離から12.5リットル/分の水を最低 3 分間注水する条件であらゆる方向から噴流を当てても、電話機としての機能を有することを意味します。
※2 IPX7とは、常温で水道水、かつ静水の水深 1mのところにSH-M01を静かに沈め、約30分間放置後に取り出したときに電話機としての機能を有することを意味します。

SH-M01が有する防水性能でできること

- SH-M01が有する防水性能でできることについては取扱説明書(PDFファイル)をご覧ください。

ご利用にあたって

防水性能を維持するために、必ず次の点を確認してください。
- microSIMカード/microSDカードスロット カバー、リアカバーをしっかりと閉じてください。開閉するときは、ゴムパッキンに異物なお を加えないようご注意ください。
- microSIMカード/microSDカードスロット カバー、リアカバーが浮いていないように完全に閉じたことを確認してください。
- 防水性能を維持するため、microSIMカード/microSDカードスロット カバー、リアカバーはしっかり閉じる構造となっております。無理に開けようとすると爪や指などを傷つける可能性がありますので、ご注意ください。
- microSIMカード/microSDカードスロット カバーの開閉、リアカバーの取り付け/取り外しについては取扱説明書(PDFファイル)をご覧ください。

● 防水性能を維持するため、異常の有無にかかわらず2年に 1 回、部品の交換をおすすめします。部品の交換は端末をお預かりして有料にて承ります。部品の交換については「保証書に記載のお問い合わせ先」までご連絡ください。

注意事項

- 手が濡れているときや端末に水滴がついているときには、リアカバーの取り付け/取り外し、microSIMカード/microSDカードスロット カバーの開閉はしないでください。
- microSIMカード/microSDカードスロット カバー、リアカバーはしっかりと閉じてください。接触面に微細なゴミ(髪の毛 1 本、約粒 1 つ、微細な繊維など)が挟まると、浸水の原因となります。
- microSIMカード/microSDカードスロット カバー、リアカバーが開いている状態で水などの液体がかかった場合、内部に液体が入り、感電や故障の原因となります。その速 使用せずに 電源を切り、「保証書に記載のお問い合わせ先」までご連絡ください。
- microSIMカード/microSDカードスロット カバーと本体の接触面のゴムパッキンは防水性能を維持する上で重要な役割を担っています。はがしたり傷つけたりしないでください。また、ゴミが付着しないようにしてください。
ゴムパッキンが傷ついたり、変形したりした場合は、「保証書に記載のお問い合わせ先」までお問い合わせください。
- microSIMカード/microSDカードスロット カバーのすき間に、先の尖ったものを差し込まないでください。ゴムパッキンが傷つき、浸水の原因となります。
- リアカバーが破損した場合は破損箇所から内部に水が入り、感電や電池の腐食などの故障の原因となります。そのまま使用せずに電源を切り、「保証書に記載のお問い合わせ先」までお問い合わせください。
- 水中で端末を使用(キー操作を含む)しないでください。故障の原因となります。
- 規定以上の強い水流(6 リットル/分を超える)を直接当てないでください。SH-M01はIPX5の防水性能を有してはいますが、故障の原因となります。
- 常温(5℃～35℃)の水以外の液体をかけたり、浸けたりしないでください。常温の水以外の液体をかけたり、浸けたりした場合は、そのまま使用せず、常温の水で洗ってください。
- 洗濯機などで洗わないでください。
- 結露防止のため、寒い場所から暖かい場所へ移動するときは端末が常温になってから持ち込んでください。
- 温泉やせっけん、洗剤、入浴剤の入った水には絶対に浸けないでください。
- 熱湯に浸けたり、サウナで使用したり、温風(ドライヤーなど)を当てたりしないでください。
- 海水には浸けないでください。
- 砂/泥の上に直接置かないでください。

- 濡れたまま放置しないでください。寒冷地で凍結するなど、故障の原因となります。
- 端末は水に浮きません。
- 落下させないでください。傷の発生などにより防水性能の劣化を招くことがあります。
- 送話口/マイク、受話口、スピーカー、イヤホンマイク端子に水滴を残さないでください。通話不良となる恐れがあります。
- 送話口/マイク、受話口、スピーカー、外部接続端子、イヤホンマイク端子などを尖ったもので つつかないでください。
- 端末が水に濡れた状態でイヤホンマイクを挿さないでください。故障の原因となります。
- オプション品は防水性能を有してはいません。風呂場、シャワー室、台所、洗面所などの水周りでは使用しないでください。

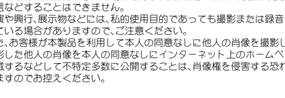
● 実際の使用にあたって、すべての状況での動作を保証するものではありません。また、調査の結果、お客様の取り扱いの不備による故障と判明した場合、保証の対象外となります。

水に濡れたときの水抜きについて

端末を水に濡らした場合、拭き取れなかった水滴をとから漏れてくる場合がありますので、次の手順で水抜きを行ってください。

1 端末表面の水分を軽い清潔な布などで よく拭き取る
- ストラップを付けている場合は、ストラップも十分乾かしてください。

2 端末をしっかりと持ち、20回程度水滴が飛ばなくなるまで振る



スピーカーの水抜きのためにスピーカーを下にして振る

受話口の水抜きのために受話口を下にして振る

3 送話口/マイク、受話口、スピーカー、キー、外部接続端子、イヤホンマイク端子、ストラップ取り付け口などのすき間に溜まった水は、乾いた清潔な布などに端末を軽く押し当てて拭き取る
- 各部の穴に水が溜まっていることがありますので、開口部に布などを当て、軽くたたいて水を出してください。

4 端末から出てきた水分を乾いた清潔な布などで十分に拭き取り、しばらく自然乾燥させる
- 水を拭き取ったあとに本体内部に水滴が残っている場合は、水が染み出ることがあります。
- 水が抜けない場合は音が聞こえづらいことがありますので、再度布などを当て、軽くたたいて水を出してください。

充電のとき

オプション品は防水性能を有していません。充電時、および充電後には、必ず次の点を確認してください。
- 端末が濡れていないか確認してください。濡れている場合や水に濡れたあとは、よく水抜きをして乾いた清潔な布などで拭き取ってください。

警告

端末が濡れている状態では、microUSBプラグを絶対に接続しないでください。
- 端末は防水性能を有しておりますが、濡れた状態でmicroUSBプラグを挿入すると、端末やmicroUSBプラグに付着した水分や異物などにより、充電ショートによる異常発熱、故障、火災、やけどの原因となります。
- 濡れた手でACアダプター(別売)に触れないでください。感電の原因となります。
- ACアダプターは、水のかからない状態で使用してください。風呂場、シャワー室、台所、洗面所などの水周りで使用しないでください。火災や感電の原因となります。

携帯電話機の比吸収率(SAR)について

この機種SH-M01の携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。
この携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準(※1)ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。この国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率(SAR:Specific Absorption Rate)で定めており、携帯電話機に対するSARの許容値は2.0W/kgです。この携帯電話機の側頭部におけるSARの最大値は0.637W/kg、身体に装着した場合のSARの最大値は0.491W/kg(※2)です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。
携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話等を行っている状態では、通常SARはより小さい値となります。一般的には、基地局からの距離が近いほど、携帯電話機の出力は小さくなります。
この携帯電話機は、側頭部以外の位置でも使用可能です。キャリングケース等のアクセサリをご使用するなどして、身体から1.5cm以上離し、かつその間に金属(部分)が含まれないようにしてください。このことにより、本携帯電話機が国の技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合していることを確認しています。
世界保健機関は、「携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで20年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用によって生じるとされる、いかなる健康影響も確立されていません。」と表明しています。
さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。
http://www.who.int/docstore/peh-emf/publications/facts_press/fact_japanese.htm
SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。

総務省のホームページ
http://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm
一般社団法人電波産業会のホームページ
http://www.arib-emf.org/index02.html

シャープ株式会社のホームページ
http://www.sharp.co.jp/products/shm01/spec/index.html
※1 技術基準については、電波法関連省令(無線設備規則第14条の2)で規定されています。
※2 この値は同時送信の値です。

European RF Exposure Information

Your mobile device is a radio transmitter and receiver. It is designed not to exceed the limits for exposure to radio waves recommended by international guidelines. These guidelines were developed by the independent scientific organization ICNIRP and include safety margins designed to assure the protection of all persons, regardless of age and health.
The guidelines use a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit for mobile devices is 2 W/kg and the highest SAR value for this device when tested at the ear is 0.567 W/kg※ and when worn on the body is 0.451 W/kg※.
For body-worn operation, this mobile device has been tested and meets the RF exposure guidelines when used with an accessory containing no metal and positioning the handset a minimum of 1.5 cm from the body. Use of other accessories may not ensure compliance with RF exposure guidelines.
As SAR is measured utilizing the devices highest transmitting power the actual SAR of this device while operating is typically below that indicated above. This is due to automatic changes to the power level of the device to ensure it only uses the minimum level required to reach the network.

※The tests are carried out in accordance with international guidelines for testing.

Declaration of Conformity

CE0168 !

In some countries/regions including Europe, there are restrictions on the use of 5GHz WLAN that may limit the use to indoors only.
If you intend to use 5GHz WLAN on the device, check the local laws and regulations beforehand.

Hereby, Sharp Telecommunications of Europe Ltd, declares that this SH-M01 is in compliance with the essential requirements and other relevant provisions of Directive 1999/5/EC.
A copy of the original declaration of conformity can be found at the following Internet address:
http://k-tai.sharp.co.jp/support/other/shm01/

FCC Notice

- This device complies with part 15 of the FCC Rules.
Operation is subject to the following two conditions:
(1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.
- Changes or modifications not expressly approved by the manufacturer responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

Information to User

This equipment has been tested and found to comply with the limits of a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation; if this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:
1. Reorient/relocate the receiving antenna.
2. Increase the separation between the equipment and receiver.
3. Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
4. Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

5 GHz WLAN Operation in USA

Within the 5.15-5.25 GHz band, UNII devices are restricted to indoor operations to reduce any potential for harmful interference to co-channel Mobile Satellite Services (MSS) operations.

FCC RF Exposure Information

Your handset is a radio transmitter and receiver.
It is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy set by the Federal Communications Commission of the U.S. Government.
The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organizations through periodic and thorough evaluation of scientific studies. The standards include a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health.
The exposure standard for wireless handsets employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit set by the FCC is 1.6 W/kg.
The tests are performed in positions and locations (e.g., at the ear and worn on the body) as required by the FCC for each model. The highest SAR value for this model handset when tested for use at the ear is 0.54 W/kg and when worn on the body, as described in this user guide, is 0.81 W/kg.
For body worn operation, this phone has been tested and meets the FCC RF exposure guidelines. Please use an accessory designated for this product or an accessory which contains no metal and which positions the handset a minimum of 1.5 cm from the body.
The use of accessories that do not satisfy these requirements may not comply with FCC RF exposure requirements, and should be avoided.
The FCC has granted an Equipment Authorization for this model handset with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF emission guidelines. SAR information on this model handset is on file with the FCC and can be found under the Display Grant section of http://transition.fcc.gov/oet/ea/fccid/ after searching on FCC ID APYHRO00202.
Additional information on Specific Absorption Rates (SAR) can be found on the FCC website at http://www.fcc.gov/encyclopedia/radio-frequency-safety.

FCC ID Location

The FCC ID for this device can be found under the back cover. Please remove the back cover when you want to see the FCC ID.

CAUTION

Do not throw the handset into a fire.
The internal battery may leak, explode, catch fire, etc.

Do not dispose of the unnecessary handset in ordinary garbage.
Since the battery is built into the handset, contact the "company or outlet listed on the warranty card", where the handset will be properly disposed of.

To prevent possible hearing damage, do not listen at high volume levels for long periods.

Earphone Signal Level
The maximum output voltage for the music player function, measured in accordance with EN 50332-2, is 117.0 mV.

Avoid using or storing the handset in locations subject to extremely high or low temperatures or under direct sunlight.

Charge battery in areas where ambient temperature is between 5°C and 35°C.

Do not point the illuminated light directly at someone's eyes.
Do not use Mobile light near people's faces. Eyesight may be temporarily affected leading to accidents.

■ Bluetooth function

● Bluetooth is a registered Trademark of Bluetooth SIG, Inc.

輸出管理規制

本機を他人に使わせたり譲渡する目的で海外へ持ち出す場合は、輸出許可が必要になることがありますが、旅行や出張時に本人が使用する目的で日本から持ち出し持ち帰る場合には許可は不要です。
米国輸出規制により本機をキューバ、イラン、朝鮮民主主義人民共和国、スーダン、シリアへ持ち込むためには米国政府の輸出許可が必要です。

知的財産権について

著作権・肖像権について

● お客様が本製品を利用して撮影またはインターネット上のホームページからのダウンロードやテレビ、ビデオなどにより取得した文章、画像、音楽、ソフトウェアなど第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信などすることはできません。
実演や興行、展示物などには、私的使用目的であっても撮影または録音を制限している場合がありますのでご注意ください。
また、お客様が本製品を利用して本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり、撮影した他人の肖像を本人の同意なしにインターネット上のホームページに掲載するなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害する恐れがありますのでお控えください。

商標について

- Microsoft®、Windows®、Windows Media®、Windows Vista®、Exchange®は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Oracleとjavaは、Oracle Corporation及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。
文中の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。
- QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- microSDHCロゴはSD-3C, LLCの商標です。

- この製品では、シャープ株式会社が液晶画面で見やすく、読みやすくなるよう設計したLCフォントが搭載されています。LCフォント/LCFONTおよびFONT(R)は、シャープ株式会社の登録商標です。
- OBEX™は、Infrared Data Association®の商標です。
- For DTS patents, see http://patents.dts.com. Manufactured under license from DTS Licensing Limited. DTS, the Symbol, & DTS and the Symbol together are registered trademarks, and DTS Sound is a trademark of DTS, Inc. © DTS, Inc. All Rights Reserved.

dts Sound

- PhotoScouter®は株式会社モルフォの登録商標です。
- AOSS™ 及び、AOSS™は株式会社バッファローの商標です。
- Wi-Fi®はWi-Fi Alliance®の登録商標です。
- Wi-Fi Direct™、Wi-Fi Protected Setup™およびWi-Fi Protected Setupロゴは Wi-Fi Alliance®の商標です。
The Wi-Fi Protected Setup Mark is a mark of the Wi-Fi Alliance.
- This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (http://www.openssl.org/)
この製品には OpenSSL Toolkit における使用のために OpenSSL プロジェクトによって開発されたソフトウェアが含まれています。
- This product includes cryptographic software written by Eric Young(eay@cryptsoft.com)
この製品には Eric Young によって作成された暗号化ソフトウェアが含まれています。
- 文字変換は、オムロンソフトウェア株式会社のiWnnを使用しています。
iWnn © OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2008-2014 All Rights Reserved.
iWnn IME © OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2009-2014 All Rights Reserved.
- 本製品には株式会社モリサワの書体、新ゴ Mを搭載しています。
※新ゴは株式会社モリサワの登録商標です。
- aoriXは CSR plc.の登録商標です。
- PORONは株式会社ロジャースイノアックの登録商標です。
- 「AQUOS」、「Feel UX」、「ウェルカムシート/Welcome Sheet」、「Bright Keep」、「AQUOS」ロゴはシャープ株式会社の商標または登録商標です。

- その他の社名および商品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

その他

- 本製品はMPEG-4 Visual Patent Portfolio Licenseに基づき、下記に該当するお客様による個人的で 且つ非営利目的に基づく使用ガライセンス許諾されております。これ以外の使用については、ライセンス許諾されておりません。
■ MPEG-4ビデオ規格準拠のビデオ(以下「MPEG-4ビデオ」と記載します)を符号化すること。
■ 個人的で且つ営利活動に従事していないお客様が符号化したMPEG-4ビデオを復号すること。
■ ライセンス許諾を受けているプロバイダから取得したMPEG-4ビデオを復号すること。
その他の用途で使用する場合など詳細については、米国法人MPEG LA, LLCにお問い合わせください。
- 本製品はMPEG-4 Systems Patent Portfolio Licenseに基づき、MPEG-4システム規格準拠の符号化についてライセンス許諾されています。ただし、下記に該当する場合は追加のライセンスの取得およびロイヤリティの支払いが必要となります。
■ タイトルベースで課金する物理媒体に符号化データを記録または複製すること。
■ 永久記録および/または使用のために、符号化データをタイトルベースで課金してエンドユーザに配信すること。
追加のライセンスについては、米国法人MPEG LA, LLCより許諾を受けることができます。詳細については、米国法人MPEG LA, LLCにお問い合わせください。
- 本製品は、AVCポートフォリオライセンスに基づき、お客様が個人的に、且つ非商業的な使用のために(i)AVC規格準拠のビデオ(以下「AVCビデオ」と記載します)を符号化するライセンス、および/または(ii)AVCビデオ(個人的で、且つ商業的活動に従事していないお客様により符号化されたAVCビデオ、および/またはAVCビデオを提供することについてライセンス許諾されているビデオプロバイダーから入手したAVCビデオに限ります)を復号するライセンスが許諾されております。その他の使用については、制限的にもーりのライセンス許諾がされてありません。さらに詳しい情報については、MPEG LA, L.L.C.から入手できる可能性があります。
http://www.mpegla.comをご参照ください。

- 本製品は、VC-1 Patent Portfolio Licenseに基づき、お客様が個人的に、且つ非商業的な使用のために(i)VC-1規格準拠のビデオ(以下「VC-1ビデオ」と記載します)を符号化するライセンス、および/または(ii)VC-1ビデオ(個人的で、且つ商業的活動に従事していないお客様により符号化されたVC-1ビデオ、および/またはVC-1ビデオを提供することについてライセンス許諾されているビデオプロバイダーから入手したVC-1ビデオに限ります)を復号するライセンスが許諾されております。その他の使用については、制限的にモーりのライセンス許諾がされてありません。さらに詳しい情報については、MPEG LA, L.L.C.から入手できる可能性があります。
http://www.mpegla.comをご参照ください。
- 本書では各OS(日本語版)を次のように略して表記しています。
■ Windows 8.1は、Microsoft® Windows® 8.1、Microsoft® Windows® 8.1 Pro、Microsoft® Windows® 8.1 Enterpriseの略です。
■ Windows 8は、Microsoft® Windows® 8、Microsoft® Windows® 8 Pro、Microsoft® Windows® 8 Enterpriseの略です。
■ Windows 7は、Microsoft® Windows® 7 (Starter、Home Basic、Home Premium、Professional、Enterprise、Ultimate)の略です。
■ Windows Vistaは、Windows Vista®(Home Basic、Home Premium、Business、Enterprise、Ultimate)の略です。
- Bluetoothは、米国Bluetooth SIG,Inc.の登録商標です。
- Google™、Google ロゴ、Android™、Google Play™、Google Play ロゴ、Google+™、Google+ ロゴ、Google 設定、Google 設定 ロゴ、Gmail™、Gmail ロゴ、Google カレンダー™、Google カレンダー ロゴ、Google マップ™、Google マップ ロゴ、Google Chrome™、Google Chrome ロゴ、Google 音声検索™、Google 音声検索 ロゴ、YouTube、YouTube ロゴ、Google ドライブ™、Google ドライブ ロゴ、Google™ 検索、Google 検索 ロゴ、Google Now™は、Google Inc. の商標です。

オープンソースソフトウェアについて

- 本製品には、GNU General Public License(GPL)、GNU Lesser General Public License(LGPL)、その他のライセンスに基づくソフトウェアが含まれています。
当該ソフトウェアのライセンスに関する詳細は、ホーム画面にアプリシートを表示▶【設定】▶【端末情報】▶【法的情報】▶【オープンソースライセンス】をご参照ください。
- GPL、LGPL、Mozilla Public License(MPL)に基づくソフトウェアのソースコードは、下記サイトで無償で開示しています。詳細は下記サイトをご参照ください。
https://sh-dev.sharp.co.jp/android/modules/oss/

VEGETABLE OIL INK

製造元：シャープ株式会社